

## 検定試験受験者への連絡・注意事項

商工会議所検定試験の受験申し込みの際しましては、次の留意事項を踏まえた上でお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

1. 商工会議所検定試験の申込時にご記入いただいた情報につきましては、個人情報保護法を遵守し、検定試験施行における本人確認、受験者・合格者台帳の作成、合格証書・合格証明書の発行および商工会議所検定試験に関する連絡、各種情報提供に使用し、目的外の使用はいたしません。
2. 受験に際しては、本人確認を行いますので、必ず身分証明書(氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できるもの〈例〉運転免許証、旅券(パスポート)、社員証、学生証など)を携帯してください。身分証明書をお持ちでない方は、受験希望地の商工会議所(または試験施行機関)にご相談ください。
3. 試験問題の内容および採点内容、採点基準・方法についてのご質問には、一切回答できません。
4. 取得点数は、受験者本人にのみ開示することができることになっていますので、受験された商工会議所にお問い合わせください。ただし、答案の公開、返却には一切応じられませんので、予めご了承ください。
5. 合格証書の再発行はできません。合格証明書の発行につきましては、受験された商工会議所にお問い合わせください。
6. 一度申し込まれた受験料の返還は認めません。
7. 一度申し込まれた試験日の延期・変更は認めません。
8. 試験会場には所定の申込手続きを完了した受験者本人のみ入場を許可します。
9. 試験開始後の試験会場への入場は認めません。
10. 次に該当する受験者は失格とし、試験途中で退場させるとともに、今後も受験をお断りするなどの対応を取らせていただきます。
  - ・試験委員の指示に従わない者
  - ・試験中に、助言を与えたり、受けたりする者
  - ・試験問題等を複写する者
  - ・答案用紙を持ち出す者
  - ・本人の代わりに試験を受けようとする者、または受けた者
  - ・暴力行為や器物破損など試験に対する妨害行為におよぶ者
  - ・他の受験者に対する迷惑行為を行う者
  - ・その他の不正行為を行う者
11. 試験中の飲食、喫煙はできません。
12. 試験の施行後、不正が発覚した場合、当該受験者は失格または合格を取り消し、今後の受験をお断りするなどの対応を取らせていただきます。
13. 台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、システム上の障害、その他不可抗力による事故等の発生により、やむをえず試験が中止された場合は、当該受験者に受験料を全額返還いたします。ただし、中止にともなう受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。
14. 台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、盗難、システム上の障害等により、答案が喪失、焼失、紛失し採点できなくなった場合は、当該受験者に受験料を全額返還いたします。ただし、これにともなう受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

## 日商簿記検定試験受験者への連絡・注意事項

1. 集合時刻までに試験会場に入場するよう、時間厳守してください。
2. 試験会場では、指定された席(受験票の番号と同じ番号の席)に着いてください。
3. 受験するときに持参するもの
  - (1) 受験票
  - (2) 筆記用具(HBまたはBの黒鉛筆、シャープペン、消しゴムに限ります)  
※ラインマーカーや色鉛筆、定規等の使用は認めません。
  - (3) 計算器具(そろばん、電卓)  
※電卓は、計算機能(四則演算)のみのものに限り、以下の機能があるものは持ち込みできません。
    - ×印刷(出力)機能
    - ×メロディー(音の出る)機能
    - ×辞書機能(文字入力を含む)
    - ×プログラム機能(例:関数電卓等の多機能な電卓、売価計算・原価計算等の公式の記憶機能がある電卓)(注)次のような機能は、プログラム機能に該当しないものとして、試験会場での使用を可とします。  
\*日数計算 \*時間計算 \*換算 \*税計算 \*検算(音の出ないものに限る)
  - (4) 身分証明書(運転免許証、旅券(パスポート)、社員証、学生証など)  
※小学生以下の方は必要ありません。
4. 受験の際は、計算用紙(A4サイズ1枚)を配布します。(1級は「商業簿記・会計学」で1枚、「工業簿記・原価計算」で1枚の合計2枚)
5. 試験中は勝手な発言をしないでください。質問があるときは、試験開始前に手を挙げて試験委員に申し出てください。試験後の質問には応じません。
6. 試験開始から30分間を経過しないと退席は認めません。
7. 携帯電話などの外部との通信が可能なモバイル機器の使用を禁止します。持っている人は、必ず電源を切り、カバンにしまってください。アラームを設定している場合は、解除したうえで、電源を切ってください。カバンは、机の下や足元に置いてください。指示に従わず、使用が発覚した場合、身につけていることが分かった場合、試験時間中に着信音が鳴るなどした場合は、不正行為とみなし退場していただく場合もあります。